

名古屋に日本法人

高度な熱処理加工業展開

英ボディコート

航空機産業が集積する愛知県の名古屋市に営業活動の拠点を設けることで、日本企業とのビジネスを拡大する。

愛知県には、トヨタ自動車とそのグループとの「トヨタ・ビジネス」の獲得を目指して、欧米のメーカーが次々と拠点を展開している。昨年も米国のギア関連メーカーや、独の防錆塗料メーカーが名古屋市内に拠点を開設したが、今年も同様の動きが続くことになりそうだ。

熱処理加工業の英ボディコート・インターナショナル（ジョン・D・ハバード最高経営責任者、チェシャー州）は2日、愛知県名古屋市区に日本法人、ボディコート・ジャパン（ジュリアン・ベイシヨア代表取締役）を設立し

たと発表した。名古屋を拠点に自動車産業、航空機産業向けに熱処理事業を展開する。低圧浸炭などの高度な熱処理加工業を日本で展開する。2010年までに愛知県などに10カ所の工場を設置する計画。10工場合計で同年に年間

50億円の売上高を見込む。同社は世界35カ国に300カ所以上に拠点を持つ熱処理加工業の大手企業で、07年度の売上高は約1420億円。熱処理事業と試験事業を展開しており、日本では熱処理事業を展開する。自動車産業、